



2015 S-FJ&F4日本一決定戦
(2015 鈴鹿クラブマンレース Final Round 併催)
特別規則書

JAF公認 準国内競技

2015/12/5(SAT)・6(SUN)

主催
淀レーシングクラブ(チーム淀)
鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)

公示

2015 S-FJ&F4日本一決定戦は、一般社団法人日本自動車連盟(JAF)公認のもと、FIAの国際モータースポーツ競技規則に準拠したJAFの国内競技規則及びその付則、ならびに鈴鹿クラブマンレースシリーズ規則書、本大会特別規則書に従い準国内競技として開催される。

第1条 競技会名称
O2015 S-FJ&F4日本一決定戦

第2条 オーガナイザーの名称
O淀レーシングクラブ(チーム淀)
会長 淀野 泰弘
住所 兵庫県三田市けやき台5-1-3
TEL 079-565-7808
O鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)
会長 藤岡 良一
住所 三重県鈴鹿市稲生町7992
TEL 059-378-3405

第3条 開催場所
鈴鹿サーキット(5.807km)

第4条 開催日程
2015年12月4日(金) 書類検査(S-FJ/F4)
12月5日(土) 書類検査・公式車検・公式予選(S-FJ/F4)
第1レグ・敗者復活(S-FJ)
12月6日(日) ファイナル(S-FJ/F4)

※ただし、S-FJの参加台数が30台以下の場合は、敗者復活は行なわない。

第5条 開催種目
■S-FJ
■F4

第6条 組織委員会
組織委員長 石田 正博
組織委員 神谷 和潤
組織委員 畑間 克彦

第7条 審査委員会
審査委員長 鈴木 隆史
審査委員 高井 喜一郎
審査委員 中嶋 善広

第8条 競技役員
競技長 石田 正博
副競技長 小出 正則
副競技長 井上 勉
副競技長 大野 正信
事務局長 岡本 桂子
コース委員長 内田 正則
技術委員長 河合 正好
計時委員長 高井 浩至
医師団長 島本 亮
救急委員長 加藤 恭三

第9条 レース区分、周回数、決勝出場台数
■S-FJ
※トーナメント方式による勝ち抜き戦(敗者復活を含む)
・各公式予選にて第1レグのグリッド決定。
・第1レグ 6周/40台
・敗者復活 5周/40台
・ファイナル 10周/30台
■F4
・ファイナル 10周/40台

第10条 参加申込

~1)受付時間 : 2015年11月 6日(金) ~ 11月21日(土)
AM 9:30 ~ 16:00
~2)申込先 : 〒669-1321
兵庫県三田市けやき台5-1-3
淀レーシングクラブ事務局
TEL : 079-565-7808

~3)提出書類
1. 参加申込書(誓約文署名と親権者承諾書を含む)
2. MS共済会加入申込書(ピット要員登録申請書)
3. 車両仕様書
~4)郵送による手続き
郵送については現金書留とし、締切日の消印は有効とする。
なお、締切日2日前以降に発送する場合は、発送の事実を大会事務局に電話で通知しなければならない。
~5)参加受理又は拒否の通知
申込締切後、参加者宛に正式受理又は拒否の通知を発送する。
参加を拒否された参加者に対しては、参加料が返還されるが、事務処理経費として2,100円を差し引く。また、参加を受理された後に参加を取消す場合、参加料は返還されない。
~6)料金規定
1. 参加料..... 46,300円
2. ピット要員追加登録料(1名につき)..... 2,100円
※4人目~5人目の登録をする場合
3. 補欠ドライバー登録料..... 5,200円
4. MS共済会
ドライバー(SMSC、TRMC-S非会員の場合)..... 7,000円
ピット要員(入会義務付け:1名につき)..... 500円
5. 車両変更登録料..... 10,300円
6. 再車検料..... 10,300円
7. 再プリーフィング料..... 20,600円

第11条 ドライバーの資格

~1)すべてのドライバーは有効な運転免許証(限定国内競技運転者許可証A所持者は除く)を所持し、限定国内競技運転者許可証Aを含み、JAFの2015国内競技運転者許可証A以上を所持していること。
~2)S-FJクラスのすべてのドライバーはJSS(ジャパンスカラシップシステム)に登録していること。なお、登録については大会前日までとする。
~3)F4クラスのすべてのドライバーは日本F4協会にドライバー登録していること。なお、登録については大会前日までとする。
~4)20才未満のドライバーは、参加申し込みの際に、親権者の承諾書と印鑑証明書(3ヶ月以内有効)を添えて提出しなければならない。
~5)SMSC会員、TRMC-S会員または暫定会員であること。

第12条 S-FJクラスシード選手

JAF各地方選手権チャンピオンは、シード選手とし参加料46,300円は免除する。

第13条 ピット要員(メカニック)

ピット要員の登録はピット責任者を含み3名までとする。ただし、1名につき2,100円のピット要員追加登録料を添えて申し込みをしたチームは計5名まで認め。また、SMSC、TRMC-S会員に未入会の者は上記2,100円に加え、別途共済会費500円を必要とする。

第14条 書類検査(選手受付)

~1)参加申込が正式に受理された参加者には、大会前日または当日に行われる書類検査(選手受付)会場(公式通知に示す)で、指名登録されたドライバー、ピット要員などのクレデンシャルおよび、ピットサインマンの身分証などが正式受理通知と引き換えに交付される。
~2)書類検査(選手受付)時に下記の書類を提示もしくは提出しなければならない。
1. 正式受理通知書
2. 参加者許可証
3. 運転免許証
4. 競技運転者許可証
5. SMSC、TRMC-Sライセンス(所持者のみ)
6. その他、必要書類がある場合は参加受理書に示す。

第15条 車両規定

■S-FJ

2015JAF国内競技車両規則第1編第10章スーパーFJ(S-FJ)規定に合致した車両とする。

～1)タイヤに関する規定

1. 横浜ゴム株式会社が指定したタイヤを使用すること。
2. ハンドカットによるタイヤの加工(溶剤の塗布を含む)を禁止する。
3. 公式予選、トーナメント、ファイナルレースを通じて競技会に使用するドライタイヤは1セット(前2本、後2本)の計4本のみとする。

～2)ECUに関する規定

本大会においてはFJ協会の実施する検査に合格し、封印されたECUのみ使用を認める。必要によってはECUはシャッフルされ、与えられたECUを使用しなければならない。

～3)エンジンに関する規定

REUの製作した治具(カムプロフィール、ヘッドの厚さ、バルブ突き出し寸法)と内視鏡によるエンジン内部確認の検査を本大会期間中において行なう事がある。参加者は本大会主催者より検査を求められた場合は、拒否することは出来ない。

～4)牽引装置

1. 車体の後部に、牽引フックまたは牽引可能な装置を装備しなければならない。
2. 牽引装置の色は赤か黄色で、車体色と対照的な色でなければならない。

■F4

2015JAF国内競技車両規則第1編第11章フォーミュラ4(F4)規定に合致した車両とする。

～1)タイヤに関する規定

1. 住友ゴム工業株式会社が指定したタイヤを使用すること。
2. ハンドカットによるタイヤの加工(溶剤の塗布を含む)を禁止する。
3. 公式予選、ファイナルレースを通じて競技会に使用するドライタイヤは1セット(前2本、後2本)の計4本のみとする。

第16条 燃料規定(指定燃料)

供給場所：Bバッド入口給油所
ピット内貯蔵：金属製タンクにて200ℓ未満

(2015年10月現在)

試験項目	コスモ		シェル	
	スーパーマグナム	V-Power	スーパーマグナム	V-Power
密度 (15℃)	g/cm ³	0.7536	0.7487	
蒸気圧 (37.8℃)	kPa	62.0	63.2	
蒸留	10%留出温度	53.0	51.0	
	50%留出温度	93.0	90.5	
	90%留出温度	145.0	124.0	
	終点	176.5	171.0	
残油量	容量%	1.0	1.0	
オクタン	(リサーチ法)	99.6	99.6	
オクタン	(モーター法)	88.3	87.4	
銅板腐食	(50℃, 3h)	1	1	
酸化安定度	min	960以上	480以上	
実在ガム	mg/100ml	1	1以下	
鉛分	g/l	0.0010以下	検出されない	
ベンゼン含有量(容量)	%	0.4	0.8	

燃料には添加剤を混入したり、オクタン価を高めたり燃料の性質を変えるような装置を取りつけたりしてはならない。

ただし、潤滑に必要なオイルの銘柄や仕様は自由とされる。

第17条 S-FJクラストーナメントおよびファイナルのグリッドについて

- ～1)各トーナメントおよびファイナルの選出方法は、図1の通り実施される。
- ～2)第1レグのポールポジションは、公式予選で速いタイムを出した車両とする。
- ～3)敗者復活のグリッドは、第1レグの当該周回数を速く走行したグループの車両をポールポジションとし、そのグループが左側グリッドとする。(A、B、各20台)

敗者復活のグリッド

(例) 第1レグで、当該周回数を速く周回したグループが、Aグループとなった場合

A11(ポールポジション)	B11
A12	B12
A13	B13
～	～
A29	B29
A30	B30

～4)ファイナルのグリッドは、第1レグの当該周回数を速く走行したグループのトップ車両をポールポジションとし、そのグループを左側グリッドとする。

(A、B、各10台)
また、その後方に敗者復活の上位10台の車両を並べる。

(例) 第1レグで、当該周回数を速く周回したグループが、Aグループとなった場合

ファイナルのグリッド

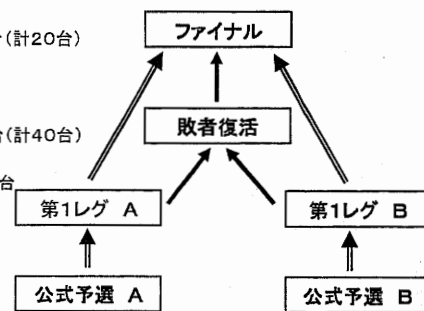
A 1(ポールポジション)	B 1
A 2	B 2
A 3	B 3
～	～
A 9	B 9
A10	B10
敗者復活 1	敗者復活 2
敗者復活 3	敗者復活 4
～	～
敗者復活 9	敗者復活 10

図1

- ファイナル 30台
 - ・第1レグより 各10台(計20台)
 - ・敗者復活より 10台

- 敗者復活 40台
 - ・第1レグより 各20台(計40台)

- 第1レグ 各40台
 - ・公式予選より 各40台



ただし、S-FJの参加台数が30台以下の場合、敗者復活は行なわない。
この場合は第1レグから各15台がそれぞれファイナルに進出するものとする。

第18条 走行中のドライバーの遵守事項

- ～1)ヘルメットおよび安全ベルト、グローブ等の確実な着用。
- ～2)HANS着用を義務付けとする。
- ～3)車両に他の者を乗せてはならない。
- ～4)コース走行は右回りとし、いかなる場合も逆方向に走行してはならない。
- ～5)ショートコース、短絡路など規定外のコースを走行してはならない。
- ～6)トラック上以外の走行は危険状態を避ける場合を除いて行ってはならない。
- ～7)走行中コントロールを失った車両、あるいは走路外に出た車両のドライバーがコースに復帰するときは、後続車両など他車の妨害にならないように注意し、安全を確認しなければならない。
- ～8)ピットおよび、コース上でのエンジン押しがけは、禁止とする。
これに違反した場合は、下記の罰則が課せられる。
 1. 公式予選中の場合は、押しがけした時点で降の予選タイムは計測せず、走行を禁止する。
 2. 第1レグ、敗者復活、そしてファイナルの場合は失格とする。
- ～9)ドライバーは、緊急の際、競技中に救急車、消火車、競技役員車、レッカー車

などがコースを走行したり、必要な作業を行うため駐・停車したり、また競技役員がコースに立入る場合があることを承知しなければならない。

第19条 燃料補給

公式予選、第1レグ、敗者復活、そしてファイナル中は、競技中の車両に対する燃料の補給は認められない。

第20条 賞典

■S-FJ

～1)ファイナルレースの出走者の中より、優秀な評価を得たドライバー1名に対してJSSから2016年度のF4スカラシップを贈呈。※詳細は別紙にて案内する。

～2)第1レグ (総額24万円)

JSS賞	
1位	5万円
2位	4万円
3位	3万円

～3)ファイナルレース (総額102万円)

正賞	JSS賞	正賞	JSS賞
優勝 トロフィー	30万円	6位 トロフィー	7万円
2位 トロフィー	20万円	7位	6万円
3位 トロフィー	10万円	8位	5万円
4位 トロフィー	9万円	9位	4万円
5位 トロフィー	8万円	10位	3万円

～4)ジェントルマン賞

ファイナルレースの出走者の35歳以上のドライバーの中より、最上位の選手に対し、FJ協会よりトロフィーが授与される。

■F4

～1)ファイナルレース (総額81万円)

正賞	F4協会賞
優勝 トロフィー	20万円
2位 トロフィー	15万円
3位 トロフィー	12万円
4位 トロフィー	10万円
5位 トロフィー	8万円
6位 トロフィー	6万円
ベストメカニック賞	10万円

～2)ベストメカニック賞

ファイナルレースでの優勝チームに対し、日本F4協会よりベストメカニック賞としてトロフィーと賞金10万円が授与される。

～3)Aクラス表彰(A1・A2クラス統合)

アルミ材料を主要構造とした車両を対象にAクラスを設け、ファイナルレースでクラス別順位が1位～3位にF4協会よりトロフィーが授与される。但し、総合順位で1位～3位以内の車両を除くものとする。

第21条 賞典の制限

予選参加台数が少数の場合は次のように制限される。

2台以下	なし	12～13台	6位
3台	1位	14～15台	7位
4～5台	2位	16～17台	8位
6～7台	3位	18～19台	9位
8～9台	4位	20台以上	10位
10～11台	5位		

以上